

THANK YOU PRESS 2023

COSMOエコ基金 活動報告書

第21期2022年4月1日~2023年3月31日

皆さまのあたたかいご支援、誠にありがとうございます。

近年は「エコカード」からだけでなく、
「カーライフスクエアアプリ」や「コスモでんきグリーン」からの
ご寄付が増えるなど支援の輪が少しずつ広がってきました。
ひとつひとつの想いを、国内外で有効に活用させていただきます。
今後ともよろしくお願ひいたします。

ご支援いただいている皆さまへ

理事長あいさつ



COSMOエコ基金
理事長

ルゾンカ 典子

日頃より当基金を支えて頂いている皆さまへ、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。昨年12月に、国連生物多様性条約第15回締約国会議(COP15)がカナダのモントリオールで開催され、2030年までに陸と海の30%以上を保全する「30by30(サーティ・バイ・サーティ)」が主要な目標の一つとして定められました。その他、減少する生物多様性を回復に転じさせようとする「ネイチャーポジティブ」という目標も出ており、国連や政府だけでなく、企業等の取り組みも加速させていく必要があることが再確認されました。当基金の活動におきましても、20年前から気候変動と生物多様性の両面を活動テーマに掲げておらず、今後も中長期ビジョンの達成、ひいては環境問題における様々な課題解決を目指して活動を継続してまいります。また、私共COSMOエネルギーでは、2023年度から第7次連結中期経営計画をスタートさせ、中長期のありたい姿として「Vision2030」を策定、Scope3(スコープスリー)を含めてカーボンネットゼロとする2050年までのロードマップを改めて公表しました。グループ全体の事業活動におきましても、高い目標の達成に向け確実に施策を進めていく所存です。今後も地球と人に配慮した脱炭素志向の開かれた地域循環社会を目指し、皆さんと共に歩んでまいりたいと考えております。今後とも当基金を宜しくお願ひいたします。

評議員メッセージ



COSMOエコ基金評議員
サステイナブル経営総合研究所 所長

多田 博之

現代の環境問題の2大課題は、気候危機と生態系の劣化です。多くのセクターの努力にも関わらず、残念ながらこれらの進行には歯止めがかかっていないのが実情です。SDGsの根本命題はトランسفォーメーション(大変革)ですが、これは一朝一夕には出来ません。肝心なのは、私たち80億人の一人ひとりが傍観者にならないということです。小さくても何か具体的な行動を起こさねば、環境負荷は決して減りません。COSMOエコ基金は、小さな一歩を踏み出すための一つのきっかけを与えるものであり、世代を超えて一人でも多くの方々の参加が望まれるとともに、基金のさらなる拡大、発展を心から祈念致します。

COSMOエコ基金の想い

私たちCOSMOエネルギーが取り扱う石油は、
豊かな暮らしを支えてきた一方で、地球環境に負荷を与えることもあります。

そこで私たちは、1990年代からいち早く環境問題に取り組んできました。
そのひとつが、「ずっと地球で暮らそう」プロジェクトとして活動を続けている「COSMOエコ基金」です。
気候変動対応や生態系を守る活動をサポートすることで、貧困など根本的な問題の解決にも貢献してきました。

COSMOエコ基金は、昨年20年目を迎えました。
このひとつの節目に、今までの活動を大切に守り、その上で、低炭素・資源循環型社会の実現に向け、
一步踏み込んだ取り組みを重ねていきたいと考えています。そんな思いから、再生可能エネルギーに向き合い、
同時に、次世代を育てるプロジェクトにも力を入れていきます。

これらのひたむきな思いと取り組みを、社会のために。
そして未来のために。COSMOエコ基金は皆さんとともに歩んでまいります。



— COSMOエコ基金の想い。その実現をめざして — 中長期ビジョン

COSMOエコ基金は、多様なパートナーシップにより、気候変動問題に向き合い
「地球と人に配慮した脱炭素志向の開かれた地域循環社会」づくりに貢献しています。

3つの
戦略

社会課題解決への
新しい取り組み

コミュニケーションの
強化

多様なパートナーシップの
構築

5つの
個別戦略

プログラム

コスモグループ内連携

コミュニケーション

会員

パートナー

2022年度

プロジェクトレポート

5 プロジェクト

環境保全と経済的自立の両立へ。
エコ基金の想いが、現地の力になっています。

支援金額
1,116,138円
マングローブの植林
12,493本

2 キリバス共和国

南太平洋諸国支援

特定非営利活動法人
国際マングローブ生態系協会 (ISME)

日本からの渡航が困難ななか、現地の青年たちで植林チームを結成。目標を上回る植林が実現。

マングローブの植林により、キリバス共和国の海岸侵食の抑制とCO₂削減に貢献したいので、今後ともよろしくお願いします。



キリバス共和国でマングローブの植林に参加している若者たち

支援金額
5,301,987円
稲作栽培指導参加者

4 農家

パプアニューギニア

熱帯雨林保全

公益財団法人 オイスカ

定置型有機農業をさらに進めるため、竹の葉や鶏糞などを使った肥料を開発。稲作栽培も定着し収穫も増えつつあります。



“生命に満ち溢れた地球をめざして”、パプアニューギニアでの活動へのご支援どうもありがとうございます！

荏原 美知勝さん

5 フィリピン

異常気象に負けない森づくり

公益財団法人 オイスカ



海外

1 ネパール

野口健

ヒマラヤに森をつくろう

認定特定非営利活動法人 ピーク・エイド

ネパールサマ村での活動も今年で8年目。
ネパールでの植林は、100,000本をめざしてがんばります！



写真左より、ツアオン・ギャルミさん、ビヘーム・ラジャ・ライさん、バサン・ダワ・シェルバさん、ビル・パートル・ラマさん、テンジン・ノルブ・ラマさん



新たにエベレスト街道での活動をスタート！

村人たちが力を合わせて苗木を植林しました。

ネパールのサマ村で長年取り組んできた森林再生のための活動経験を活かし、2022年度からは緑豊かなエベレスト街道を取り戻す活動が加わりました。この地では観光客や登山客の寄付金にも支えられて植林活動が続けられてきましたが、コロナ禍で登山客が減少したことが影響して以前のような規模での継続が困難になっていたため、実施団体が協力して活動を進めていくことになりました。4月にネパール入りした野口健さんと現地スタッフとの念入りな打ち合わせを経て、6月にはさっそく25名の村人たちがモミやシラカバの苗木を植林しました。また、活動団体のロゴ入りTシャツを着用したスタッフが、住民や自治体に植林の意義を理解してもらう活動にも取り組んでいます。

4 ソロモン諸島

熱帯雨林保全

特定非営利活動法人
パシフィックガーデン

ソロモン産カカオ豆を使った商品を、沖縄のアンテナショップで販売。ワークショップも開催して、活動を広めています。



支援金額
7,775,000円
職業訓練校の卒業生

105名



エコ基金会員の皆さんへ。

いつもご支援ありがとうございます。
試みの学校は少しずつできることを増やして、今年は初めてソロモン産のチョコレートができました。

ジョンさん、マイケルさん、学校がある村の皆さん



マリオ・ロベスさん(後列右から1人目)と現地スタッフの皆さん

チークやナラなど火災に強い木々を植林し、豊かな熱帯林を少しづつ再生。

地道な活動により、州政府から感謝状をいただきました。

ここルソン島中部に位置するヌエバビスカヤ州は、かつては緑豊かな熱帯林がありました。しかし、大々的な森林伐採や山火事などによって、見渡す限り大地がむき出しの状態に。近年は森林の貯水能力が失われてしまい、雨季には洪水、乾季には水不足に悩まされ続けています。2022年度は、樹木に含まれる水分量が多くて火災に強いといわれるチークやナラなどを2,450本植林したほか、下草刈りなどのメンテナンスに励みました。ほどよい雨に恵まれ、苗木の生存率は90%という高い結果を残せました。また地域住民が防災林の管理について理解を深めるセミナーも実施。さまざまな活動が認められ、ヌエバビスカヤ州政府より感謝状をいただくことができました。

支援金額
6,451,996円

災害リスクの高いエリアへの植林

2,450本

10 プロジェクト

市民参加型の取り組みを少しずつ再開。
若い世代の参加も増えたほか、
SNSなどを通じた発信力も
備わってきました。

国 内



7 徳 島

地域住民で守る
神山の里山保全

認定特定非営利活動法人 グリーンバレー

森づくりの範囲を広げ、間伐材や湧き水などの山にある資源を活かしたログハウス建築やサウナイベントなど自然の恵みを感じられる機会をつくりました。



支援金額
2,982,072円
木育ワークショップの
参加者
400名

9 滋 賀

学ぶ、守る、つなぐ、
琵琶湖の水

認定特定非営利活動法人
びわ湖トラスト

琵琶湖で波力ポンプの実証実験を行い、上下循環の低下を緩和する効率的な手法の開発に向け研究を重ねています。



熊谷 道夫さん JST受講生の皆さん 桑原 雅之さん

支援金額
2,000,000円
小中高生の
実証実験への参加者
35名

10 静 岡

世界遺産
富士山の森を守り再生させよう

認定特定非営利活動法人 富士山クラブ

学生ボランティアや企業研修などさまざまな方に参加いただきました。新たな参加者や協力者の力も得て、活動していきます。



後列左より、深澤 寛貴さん、大井 英明さん、井戸 直樹さん、
前列左より、服部 稔織さん、芦川 奈穂子さん、知念 結理さん

支援金額
3,098,526円
森づくりの参加者
111名

6 兵 庫

人と動物が共生する
「安賀彩りの森」

特定非営利活動法人 奥播磨夢俱楽部

里山の保全活動も5年目に入り、果樹園のオーナー制度も定着。里山全体を回遊できる彩りの森づくりに取り組みました。NPOの世代交代も進んできています。



ご支援ありがとうございます。
1年を通して楽しめる
森づくりをめざして、
若手スタッフを中心に
活動に取り組んでいます!



奥播磨夢俱楽部スタッフと
ワークショップ参加者の皆さん



支援金額
1,680,724円
未来遺産運動・
研修参加者
201名

8 和 歌 山

生物多様性を体感できる森づくり

特定非営利活動法人 自然回復を試みる会・ビオトープ孟子

未来遺産運動として子ども向けの環境学習や、学生の調査研究が実施されました。大学や博物館とも連携し調査や研究のフィールドとしての整備が進んでいます。



海南市孟子不動谷で
未来遺産運動を継続しています。
また里山管理活動も併せて行っています。
そのすべての活動に満遍なく助成をいただき、
誠にありがとうございます。
今後ともよろしくお願ひいたします。



坂本 雅城さん

11 神奈川

竹林を間伐して 鎌倉の森を取り戻そう

一般社団法人 地球の楽校



支援金額
2,476,400円
竹林整備の参加者
1,648名



長谷川 孝一さんと
スタッフ・パートナー団体さま一同



増えすぎた竹を伐って、照葉樹を植えました。 小さな子どもたちと一緒に、多様性のある森が育っています。

鎌倉は寺社や史跡が多く、それらを取り囲む形でたくさんの森林があります。この森林は、歴史景観保存法とセットで守られてきました。しかし最近、森林保全の手が追いつかず放置状態のようになっています。そして森林内では、竹林の繁殖、拡大というさらに深刻な問題が発生。繁殖力の強い孟宗竹によって、古くからある照葉樹が根絶やしになることも。エコ基金では、増えすぎた竹を間伐し、在来種の樹木を再生させるとともに、ドングリから育てた苗木を植林する活動などを支援しています。2022年度も、地元の幼稚園や保育園に通う子どもたちと力を合わせて森の再生活動を継続。さらに、間伐した竹から遊び道具や竹炭をつくるワークショップを開催するなど、楽しみながら森を守る取り組みを実施しています。自然を近くに感じることは、きっと里山の保全につながるはずです。

12 東京

八王子の里山を 明るい森に変えていこう

特定非営利活動法人 森のライフスタイル研究所

多くのボランティアの参加や団体との連携もあり、里山での活動は予定を上回る面積で間伐などの整備ができました。



八王子の里山の再生に

お力添えをいただき、ありがとうございます。

地域で暮らす人たち、地元行政、企業、そしてボランティアの面々と
次の世代に残る自然環境を守っていきたいと思います。



堀越 健斗さん 竹垣 英信さん 越智 浩一さん

14 宮城

海を守るために木を植える 森は海の恋人

特定非営利活動法人 森は海の恋人

新たに舞根地区の保全活動がスタート。
川の上流から下流までの広い地域で、間伐作業など森の手入れをしました。

支援金額

5,698,565円

舞根地区の保全活動

2,970m³



皆さまのおかげで活動35年目を
迎えることができました。
これからも皆さまと一緒に
森から海まで
守り続けてまいります！

畠山 重篤さん 畠山 信さん

13 長野・宮城

C.W.ニコル・アファンの森と東松島の森づくり

一般財団法人 C.W.ニコル・アファンの森財団

間伐した木を搬出しやすくするため、作業用の道を整備しました。手付かずだったエリアでの作業が可能に。



支援金額
3,078,831円
作業道の整備
260m



多様な生きものが暮らせる森をめざして、
スタッフ一同がんばっていきます。
これからも応援よろしくお願いします！

アファンの森財団スタッフの皆さん

15 宮城

鳴子温泉の地熱と暮らす

特定非営利活動法人 スパッと鳴子温泉自然エネルギー



支援金額
1,375,620円
ビデオ教材制作
6本

鳴子温泉地域の特色を活かし、
地元の子どもたちに地熱エネルギーの
地産地消をテーマにした
出前授業を実施しています。

後列左より、遊佐 宗一さん、高橋 隆さん、
前列左より、菊地 昭二さん、木下 瞳さん、
村松 淳司さん、加藤 敏宣さん、佐々木 敬司さん



地熱のエネルギーの活用を、次世代へ。 教材作成や出前授業を通じて、活動の裾野を広げています。

鳴子温泉は、日本有数の温泉地です。この地熱エネルギーを活用することは、地域の生活を豊かにするだけではなく、自然環境との調和した暮らしを生み出すことにつながります。2022年度は出前授業の実施に加えて、小・中・高校で活用するビデオ教材の開発に力を入れました。昨年まで使用していた教材に最新情報を追加し、「再生可能エネルギー／地熱編」を制作。これにより、さらに多くの学校や子どもたちへ伝えていくことができそうです。また、高校の自然科学部と協力して、実験用教材である「コイル型熱交換器」をアップグレード。これは、温泉水から熱エネルギーを抽出するもので、さっそくフィールドワーク時に活用しました。

エコ基金会員の皆さんにご参加いただけるCOSMOのイベント

会員限定

EVENT INFO

2023年度、ついにリアルイベントが復活!

＼寄付金500円の使いみちを、みんなで見に行こう！／



みんなの参観日

皆さまからいただいた500円がどのように使われているか、見に行ってみませんか。

神奈川県鎌倉市において、増えすぎた竹林の間伐材を活用したワークショップやトレッキングなどを予定しています。

お子さまからシニア世代の皆さままで幅広い世代に楽しんでいただけるイベントです。

ぜひお気軽にご参加ください。

「竹林を間伐して鎌倉の森を取り戻そう」日帰り見学ツアー

開催日 2023年11月11日(土)

集合場所 江ノ島電鉄「極楽寺駅」(神奈川県鎌倉市)

協力団体 一般社団法人 地球の楽校

募集人数 30名

参加費 1,000円(小学生以下500円)

※お申込み多数の場合は抽選となります。

※状況次第でイベントの中止および内容が変更になる可能性があります。



※写真はイメージです。

詳細はホームページよりご確認ください。

※ツアーの詳細および応募受付は、9月初旬公開予定です。

<https://www.cosmo-energy.co.jp/ja/actions/phil/kankyo/eco/tour.html>



2023年度「コスモ アースコンシャス アクト」のご案内

コスモ アースコンシャス アクトは、コスモとTOKYO FMをはじめとするJFN(全国FM放送協議会加盟38局)がパートナーシップを組み、「アースコンシャス～地球を愛し、感じるこころ」をテーマに、地球環境の保全を全世界に呼びかけていく活動を展開しています。



COSMO
EARTH CONSCIOUS ACT

誰でも参加OK

クリーン・キャンペーン

自然と親しみながら、日本各地の環境課題の解決への貢献をめざして、清掃や植林などの活動に取り組んでいます。2023年度の開催情報はホームページに掲載予定です。誰でも参加できますので、ぜひチェックしてみてください！



開催情報はこちらへ

<https://www.tfm.co.jp/earth/clean/>



コスモ アースコンシャス アクト
公式Twitter

最新情報を配信しておりますので、ぜひフォローを！



オリジナル番組

「コスモ アースコンシャス アクト
未来へのメッセージ」

JFN38局フルネットで放送中。毎回1名のアーティストなどが登場し、環境問題や地球の未来について実践しているアクションをご紹介。

ラジオ番組

AuDee/PODCASTで番組配信中!!

「COSMO ECO Marché」「COSMO みらいかぜ」はこちらからご視聴できます
<https://www.tfm.co.jp/earth/program/index.html>





コスモのアプリ **Carlife Square**

COSMOエコ基金のイベントのご案内などをいち早く受け取れるほか、
スマホにダウンロードするだけで、ガソリン代がずっとお得になるアプリです。
アプリからの車検の見積や、カーメンテの予約ができるなど便利な機能がいっぱい。
まだ使ったことがない方は、ぜひ今すぐダウンロードを！

Download on the App Store



Google Play
で手に入れよう



2022年度 収支報告

収入の部

カーライフスクエアアプリポイント

192,000円

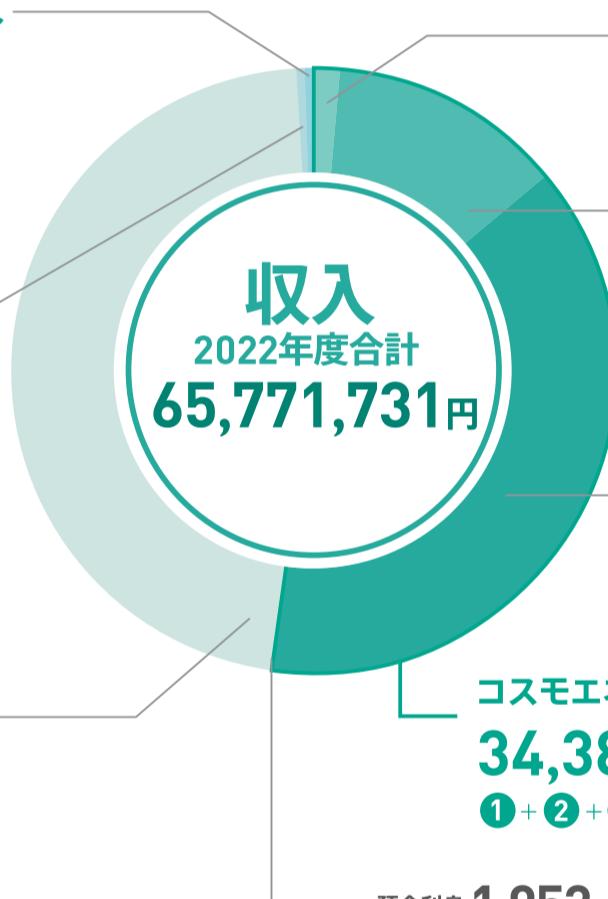
アプリご利用のお客さまによる
キャッシュバックポイントの
ご寄付(500ポイント単位)

**コスモでんき
グリーン契約者**
209,500円

コスモでんきグリーン
ご契約により、
コスモ石油マーケティング(株)が
ご契約者お一人当たり500円の
寄付金を拠出

エコカード会員拠出金
30,982,500円

エコカード会員さまによる
年間500円のご寄付



① ECOバッテリー売上一部

株コスモトレードアンドサービス拠出金
1,000,700円

環境配慮型バッテリーの
売上1個につき10円を
寄付しています。



*コスモECO.Rスタンダードは一部商品を除き1個あたり50円

② プラチナユーザー募金

コスモエネルギーホールディングス(株)拠出金
8,290,500円

給油や洗車によるカードご利用
金額の一部を寄付しています。



③ カード売上一部

コスモ石油マーケティング(株)拠出金
25,095,479円

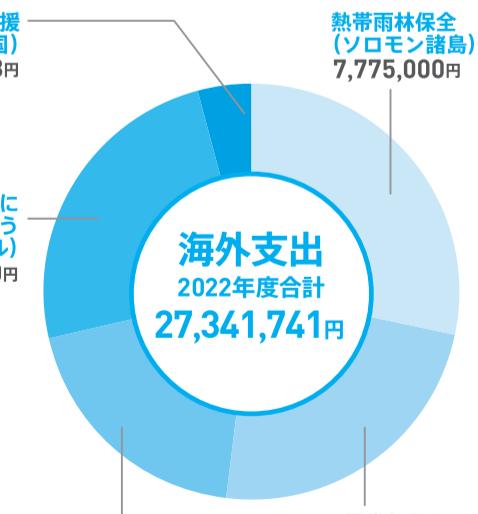
収入の部 2022年度合計

65,771,731円

支出の部

南太平洋諸国支援 (キリバス共和国) 1,116,138円

野口健 ヒマラヤに
森をつくろう
(ネパール)
6,696,620円



熱帯雨林保全 (ソロモン諸島) 7,775,000円

学ぶ、守る、つなぐ、
琵琶湖の水
2,000,000円

竹林を伐して 鎌倉の森を取り戻そう 2,476,400円

八王子の里山を
明るい森に
変えていこう
2,000,000円

人と動物が共生する 「安賀彩りの森」 3,412,025円

地域住民で守る
神山の里山保全
2,982,072円

生物多様性を体感 できる森づくり 1,680,724円

海を守るために
木を植える
森は海の恋人
5,698,565円

世界遺産 富士山の森を守り 再生させよう 3,098,526円

鳴子温泉の
地熱と暮らす
1,375,620円

鳴子温泉の 地熱と暮らす 1,375,620円

C.W.ニコル
アフアンの森と
東松島の森づくり
3,078,831円

残高証明書発行料 440円

会計・運営に関する
コンサルタント費用
1,546,800円

請求書
同封チラシ
作成料
845,900円

会計レビュー費用
300,000円

専門家への委託費用
100,000円

その他支出 2022年度合計 8,616,233円

振込手数料
45,980円

活動報告書
作成料
5,777,113円

支出の部 2022年度合計

63,760,737円

海外支出小計

27,341,741円

国内支出小計

27,802,763円

その他支出小計

8,616,233円

=

COSMOエコ基金は、皆さまからのご支援により支えられています

皆さまからの寄付

コスモエネルギー
グループからの寄付

地球環境の保全や啓発等に
取り組むプロジェクトを支援

エコカード会員の
皆さまが

コスモでんきグリーンの
ご契約で^{※1}

自動的に
年間500円
COSMOエコ基金に
寄付

エコカード会員の皆さまが
10年以上継続でご加入され
コスモのサービスステーションでの
ご利用金額が
年間15万円以上になると

コスモエネルギーが
お一人さまにつき
1,500円を
COSMOエコ基金に
寄付します
(プラチナユーザー募金)^{※2}



エコカード会員の皆さまが

コスモエネルギーが



給油や洗車を
されると

ご利用金額の
0.1%を
COSMOエコ基金に
寄付します

お客様が

コスモエネルギーが



エコバッテリーを
ご購入されると

1個につき
10円を
COSMOエコ基金に
寄付します

※1 コスモでんきグリーン:コスモ石油マーケティング株式会社が、電力事業の売上の一部からご契約者お一人あたり年間500円の寄付金を基金に拠出します。
※2 継続年数、ご利用金額、プラチナユーザーお一人様あたりの寄付金額は、サービスステーションのガソリン価格や原油価格等の環境要因を踏まえて毎年設定しています。

EVENT REPORT

COSMOエコ基金20周年記念イベントを開催! オンライントークイベント

2023年3月5日、COSMOエコ基金20周年を記念して、豪華メンバーを迎えたオンライントークイベントを開催しました。ここでしか聞くことができない裏話も!? アーカイブ放送がございますので、見逃してしまった方はぜひご覧ください。



イベントの動画はこちらからご覧ください
https://youtu.be/H_ifhEZSzyk



編集後記

最後までお読みいただきありがとうございました。新型コロナウィルスの感染症が5類に移行され、以前の暮らしを少しずつ取り戻そうとしている中で、エコ基金および、パートナー団体主催の実地イベントも徐々に再開しています。感染対策を万全にしてお待ちしておりますので、ぜひご参加ください。また、皆さまのお声を参考に、より良い基金をつくり上げていきたいと考えておりますので、アンケートのご回答をよろしくお願ひいたします！

アンケートは
こちらから



COSMOエコ基金事務局 滝田 亜実



〒105-8302 東京都港区芝浦1丁目1番1号
コスモエネルギーホールディングス株式会社
コーポレートコミュニケーション部 広報グループ内
COSMOエコ基金事務局 ecocard_fund@cosmo-oil.co.jp



この活動報告書は、
FSC認証の紙を使用しています。